

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科等の専攻の設置

注1

北海道大学大学院

工学院（博士後期課程）

注2

事前伺い**【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書**国立大学法人 北海道大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部企画課組織整備担当

職名・氏名 係長・小守林 ^{コモリバヤシ} サトシ 訓

電話番号 011-706-2842

（夜間） 011-706-2842

F A X 011-706-2193

e-mail skaikaku@general.hokudai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	14
3	施設・設備の整備状況, 経費	38
4	既設大学等の状況	39
5	教員組織の状況	40
6	留意事項に対する履行状況等	44
7	その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 北海道大学

(2) 大学名

北海道大学大学院 工学院

(3) 大学の位置

〒060-0810 北海道札幌市北区北13条西8丁目
(〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長			
学 部 長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の博士後期課程の場合（平成24年度までの3年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の 名称（学位）	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学院	年	人	人	基礎となる学部名等
応用物理学専攻（博士後期課程）	3	9	27	工学部
材料科学専攻（博士後期課程）		7	21	
機械宇宙工学専攻（博士後期課程）		5	15	
人間機械システムデザイン専攻（博士後期課程）		5	15	
エネルギー環境システム専攻（博士後期課程）		5	15	
量子理工学専攻（博士後期課程）		5	15	
環境フィールド工学専攻（博士後期課程）		6	18	
北方圏環境政策工学専攻（博士後期課程）		7	21	
建築都市空間デザイン専攻（博士後期課程）		5	15	
空間性能システム専攻（博士後期課程）		5	15	
環境創生工学専攻（博士後期課程）		5	15	
環境循環システム専攻（博士後期課程）		5	15	
博士（工学）				

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

<工学院応用物理学専攻（博士後期課程）>

報告年度 区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 9 (若干名) [-]	人 0 (若干名) [-]	人 9 (若干名) [-]	人 1 (若干名) [-]	人 9 (若干名) [-]	人 0 (若干名) [-]	0.44倍	
志願者数	2 (0) [0]	0 (0) [0]	4 (0) [0]	1 (-) [1]	5 (-) [-]	() []		
受験者数	2 (0) [-]	- (-) [-]	4 (-) [-]	1 (-) [1]	5 (-) [-]	() []		
合格者数	2 (0) [-]	- (-) [-]	4 (-) [-]	1 (-) [1]	5 (-) [-]	() []		
B 入学者数	2 (0) [-]	- (-) [-]	4 (-) [-]	1 (-) [1]	5 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	0.22		0.55		0.55			

<工学院材料科学専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 7 (若干名) [-]		人 7 (若干名) [-]		人 7 (若干名) [-]		1.70倍	
志願者数	9 (1) [1]	5 (1) [4]	11 (1) [2]	7 (-) [5]	6 (2) [3]	() []		
受験者数	9 (1) [1]	5 (1) [4]	11 (1) [2]	7 (-) [5]	6 (2) [3]	() []		
合格者数	8 (1) [1]	5 (1) [4]	11 (1) [2]	7 (-) [5]	6 (2) [3]	() []		
B 入学者数	8 (1) [1]	5 (1) [4]	10 (1) [2]	7 (-) [5]	6 (2) [3]	() []		
入学定員超過率 B/A	1.85		2.42		0.85			

<工学院機械宇宙工学専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		0.80倍	
志願者数	2 (1) [1]	3 (1) [2]	4 (-) [2]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	() []		
受験者数	2 (1) [1]	3 (1) [2]	4 (-) [2]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	() []		
合格者数	2 (1) [1]	3 (1) [2]	4 (-) [2]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	() []		
B 入学者数	2 (1) [1]	3 (1) [2]	4 (-) [2]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	1		0.80		0.60			

<工学院人間機械システムデザイン専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		0.86倍	
志願者数	1 (0) [1]	5 (2) [3]	0 (-) [-]	2 (-) [2]	5 (1) [1]	() []		
受験者数	1 (0) [1]	5 (2) [3]	- (-) [-]	2 (-) [2]	5 (1) [1]	() []		
合格者数	1 (0) [1]	5 (2) [3]	- (-) [-]	2 (-) [2]	5 (1) [1]	() []		
B 入学者数	1 (0) [1]	5 (2) [3]	- (-) [-]	2 (-) [2]	5 (1) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A	1.2		0.40		1.00			

<工学院エネルギー環境システム専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		0.46倍	
志願者数	1 (0) [0]	0 (-) [-]	5 (0) [1]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	() []		
受験者数	1 (0) [-]	- (-) [-]	5 () [1]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	() []		
合格者数	1 (0) [-]	- (-) [-]	5 () [1]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	() []		
B 入学者数	1 (0) [-]	- (-) [-]	5 () [1]	0 (-) [-]	1 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	0.2		1.00		0.20			

<工学院量子理工学専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		0.93倍	
志願者数	0 (-) [-]	2 (0) [2]	3 (1) [0]	0 (-) [-]	10 (2) [2]	() []		
受験者数	- (-) [-]	2 (-) [2]	3 (1) [-]	0 (-) [-]	10 (2) [2]	() []		
合格者数	- (-) [-]	2 (-) [2]	3 (1) [-]	0 (-) [-]	9 (2) [1]	() []		
B 入学者数	- (-) [-]	2 (-) [2]	3 (1) [-]	0 (-) [-]	9 (2) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A	0.4		0.60		1.80			

<工学院環境フィールド工学専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 6 (若干名) [-]		人 6 (若干名) [-]		人 6 (若干名) [-]		0.83倍	
志願者数	1 (0) [-]	7 (2) [5]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	0 (-) [-]	() []		
受験者数	1 (-) [-]	7 (2) [5]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	0 (-) [-]	() []		
合格者数	1 (-) [-]	7 (2) [5]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	0 (-) [-]	() []		
B 入学者数	1 (-) [-]	7 (2) [5]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	0 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	1.33		1.16		0			

<工学院北方圏政策工学専攻（博士後期課程）>

区 分	報告年度	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員		人 7 (若干名) [-]	人 7 (若干名) [-]	人 7 (若干名) [-]	人 7 (若干名) [-]	0.85倍			
志願者数		3 (2) [0]	1 (0) [1]	5 (1) [1]	3 (-) [3]	8 (4) [3]	() []		
受験者数		3 (2) [-]	1 (-) [1]	5 (1) [1]	3 (-) [3]	8 (4) [3]	() []		
合格者数		3 (2) [-]	1 (-) [1]	4 (1) [1]	3 (-) [3]	8 (4) [3]	() []		
B 入学者数		3 (2) [-]	1 (-) [1]	4 (1) [1]	2 (-) [2]	8 (4) [3]	() []		
入学定員超過率 B/A		0.57		0.85		1.14			

<工学院建築都市空間デザイン専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 人 5 (若干名) []		人 人 5 (若干名) []		人 人 5 (若干名) []		1.00倍	
志願者数	7 (2) [2]	3 (3) [0]	2 (0) [1]	2 (1) [1]	2 (-) [1]	() []		
受験者数	7 (2) [2]	3 (3) [-]	2 (-) [1]	2 (1) [1]	2 (-) [1]	() []		
合格者数	6 (1) [2]	3 (3) [-]	2 (-) [-]	2 (1) [1]	2 (-) [1]	() []		
B 入学者数	6 (1) [2]	3 (3) [-]	2 (-) [1]	2 (1) [1]	2 (-) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A	1.8		0.80		0.40			

<工学院空間性能システム専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		0.73倍	
志願者数	3 (1) [1]	2 (1) [1]	0 (0) [0]	3 (2) [1]	3 (3) [-]	() []		
受験者数	3 (1) [1]	2 (1) [1]	- (-) [-]	3 (2) [1]	3 (3) [-]	() []		
合格者数	3 (1) [1]	2 (1) [1]	- (-) [-]	3 (2) [1]	3 (3) [-]	() []		
B 入学者数	3 (1) [1]	2 (1) [1]	- (-) [-]	3 (2) [1]	3 (3) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	1		0.60		0.60			

<工学院環境創生工学専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		1.26倍	
志願者数	7 (2) [3]	6 (1) [4]	5 (0) [2]	3 (-) [3]	1 (-) [1]	() []		
受験者数	7 (2) [3]	6 (1) [4]	5 (-) [2]	3 (-) [3]	1 (-) [1]	() []		
合格者数	7 (2) [3]	6 (1) [4]	4 (-) [1]	3 (-) [3]	1 (-) [1]	() []		
B 入学者数	5 (2) [3]	6 (1) [4]	4 (-) [1]	3 (-) [3]	1 (-) [1]	() []		
入学定員超過率 B/A	2.2		1.40		0.20			

<工学院環境循環システム専攻（博士後期課程）>

報告年度 区 分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		人 5 (若干名) [-]		1.06倍	
志願者数	3 (1) [1]	0 (0) [0]	7 (4) [0]	3 (-) [3]	2 (-) [-]	() []		
受験者数	3 (1) [1]	- (-) [-]	7 (4) [-]	3 (-) [3]	2 (-) [-]	() []		
合格者数	3 (1) [1]	- (-) [-]	7 (4) [-]	3 (-) [3]	2 (-) [-]	() []		
B 入学者数	4 (1) [1]	- (-) [-]	7 (4) [-]	3 (-) [3]	2 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	0.8		2.00		0.40			

(注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

<工学院応用物理学専攻（博士後期課程）>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次	[0] 2	[0] 0	[0] 4	[0] 0	[-] 5	[1] 1	
2年次			[0] 2	[0] 0	[-] 4	[-] 0	
3年次					[-] 2	[-] 0	
計	[0] 2		[0] 6		[1] 12		

<工学院材料科学専攻（博士後期課程）>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次	[1] 8	[4] 5	[2] 10	[4] 5	[3] 6	[5] 7	
2年次			[1] 8	[0] 0	[2] 10	[4] 5	
3年次					[1] 8	[-] 0	
計	[5] 13		[7] 23		[15] 36		

<工学院機械宇宙工学専攻（博士後期課程）>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次	[1] 2	[2] 3	[2] 4	[2] 3	[-] 3	[-] 0	
2年次			[1] 2	[0] 0	[2] 4	[2] 3	
3年次					[1] 2	[-] 0	
計	[3] 5		[5] 9		[5] 12		

<工学院人間機械システムデザイン専攻（博士後期課程）>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次	[1] 1	[3] 5	[0] 0	[3] 5	[1] 5	[2] 2	
2年次			[1] 1	[0] 0	[-] 0	[3] 5	
3年次					[1] 1	[-] 0	
計	[4] 6		[4] 6		[7] 13		

<工学院エネルギー環境システム専攻（博士後期課程）>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次	[0] 1	[0] 0	[1] 5	[0] 0	[-] 1	[-] 0	
2年次			[0] 1	[0] 0	[1] 5	[-] 0	
3年次					[0] 1	[-] 0	
計	[0] 1		[1] 6		[1] 7		

<工学院量子理工学専攻（博士後期課程）>

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
			春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次			[0] 0	[2] 2	[0] 3	[2] 2	[1] 9	[-] 0	
2年次					[0] 0	[0] 0	[-] 3	[2] 2	
3年次							[-] 0	[-] 0	
計			[2] 2		[2] 5		[3] 14		

<工学院環境フィールド工学専攻（博士後期課程）>

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
			春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次			[0] 1	[4] 6	[2] 5	[4] 6	[-] 0	[2] 2	
2年次					[0] 1	[0] 0	[2] 5	[3] 4	
3年次							[-] 1	[-] 0	
計			[4] 7		[6] 12		[7] 12		

<工学院北方圏環境政策工学専攻（博士後期課程）>

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
			春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次			[0] 3	[1] 1	[1] 4	[1] 1	[3] 8	[2] 2	
2年次					[0] 3	[0] 0	[1] 4	[1] 1	
3年次							[-] 3	[-] 0	
計			[1] 4		[2] 8		[7] 18		

<工学院建築都市空間デザイン専攻（博士後期課程）>

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
			春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次			[2] 6	[0] 3	[1] 2	[0] 3	[1] 2	[1] 2	
2年次					[2] 6	[0] 0	[1] 2	[-] 3	
3年次							[2] 6	[-] 0	
計			[2] 9		[3] 11		[5] 15		

<工学院空間性能システム専攻（博士後期課程）>

学 年	報告年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
			春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次			[1] 3	[1] 2	[0] 0	[1] 2	[-] 3	[1] 3	
2年次					[1] 3	[0] 0	[-] 0	[1] 2	
3年次							[1] 3	[-] 0	
計			[2] 5		[2] 5		[3] 11		

<工学院環境創生工学専攻（博士後期課程）>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次	[3] 5	[4] 6	[1] 4	[4] 6	[1] 1	[3] 3	
2年次			[3] 5	[0] 0	[1] 4	[4] 6	
3年次					[2] 4	[-] 0	
計	[7] 11		[8] 15		[11] 18		

<工学院環境循環システム専攻（博士後期課程）>

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	春入学	その他の学期	
1年次	[1] 4	[0] 0	[0] 7	[0] 0	[-] 2	[3] 3	
2年次			[1] 4	[0] 0	[0] 7	[-] 0	
3年次					[1] 4	[-] 0	
計	[1] 4		[1] 11		[4] 16		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<工学院応用物理学専攻(博士後期課程)>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	2 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	5 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	5 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	12 人	0 人					0 %

<工学院材料科学専攻(博士後期課程)>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	13 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	17 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	6 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	36 人	0 人					0 %

<工学院機械宇宙工学専攻(博士後期課程)>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	5 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	4 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	3 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	12 人	0 人					0 %

<工学院人間機械システムデザイン専攻（博士後期課程）>

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	6 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	2 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	5 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	13 人	0 人					0 %

<工学院エネルギー環境システム専攻（博士後期課程）>

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	1 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	5 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	1 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	7 人	0 人					0 %

<工学院量子理工学専攻（博士後期課程）>

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	2 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	3 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	9 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	14 人	0 人					0 %

<工学院環境フィールド工学専攻（博士後期課程）>

区 分 対象年度	入学人数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学人数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	8 人	3 人	平成22年度	1 人	1 人	経済的理由(1人)	37.5 %
			平成23年度	2 人	1 人	仕事の都合(1人)、進路再考(1人)	
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	7 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	0 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	15 人	3 人					20 %

<工学院北方圏環境政策工学専攻（博士後期課程）>

区 分 対象年度	入学人数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学人数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	4 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	6 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	8 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	18 人	0 人					0 %

<工学院建築都市空間デザイン専攻（博士後期課程）>

区 分 対象年度	入学人数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学人数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	9 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	4 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	2 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	15 人	0 人					0 %

<工学院空間性能システム専攻（博士後期課程）>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	5 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	3 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	3 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	11 人	0 人					0 %

<工学院環境創生工学専攻（博士後期課程）>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	11 人	1 人	平成22年度	人	人		9.1 %
			平成23年度	1 人	1 人	経済的理由(1人)	
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	7 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	1 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	19 人	1 人					5.3 %

<工学院環境循環システム専攻（博士後期課程）>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	4 人	0 人	平成22年度	人	人		0 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	10 人	0 人	平成23年度	人	人		0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	2 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
合 計	16 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

<工学院（博士後期課程）>

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩○分)		
	校 舎 敷 地	m	m	m	m			
	運 動 場 用 地	m	m	m	m			
	小 計	m	m	m	m			
	そ の 他	m	m	m	m			
	合 計	m	m	m	m			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	○○短期大学と共用			
	m (m)	m (m)	m (m)	m (m)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		(例) 平成24年4月 専任教授1名を新規 採用のため(24)			
	○○学部 ○○学科		(例) 1-6 1-5 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
		○○学部	()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()	()
		計	()	()	()	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

<工学院（博士後期課程）>

大学 の 名 称	北 海 道 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
文学部			3年次		学士	1.03	昭和25年度	札幌市北区北10条西7丁目
人文学科	4	185	10	760	(文学)		平成7年度	
教育学部			3年次		学士	1.06	昭和24年度	札幌市北区北11条西7丁目
教育学科	4	50	10	220	(教育学)		昭和24年度	
法学部			2,3年次		学士	1.01	昭和28年度	札幌市北区北9条西7丁目
法学課程	4	200	各10	850	(法学)		昭和49年度	
経済学部					学士	1.03	昭和28年度	札幌市北区北9条西7丁目
経済学科	4	100		400	(経済学)		昭和28年度	
経営学科		90		360	(経営学)		昭和41年度	
理学部					学士	1.04	昭和24年度	札幌市北区北10条西8丁目
数学科	4	50		200	(理学)		平成7年度	
物理学科		35		140			平成6年度	
化学科		75		300			平成7年度	
生物科学科		80		320			平成5年度	
地球惑星科学科		60		240			平成6年度	
医学部			2年次		学士	1.06	昭和24年度	札幌市北区北15条西7丁目
医学科	6	107	5	636	(医学)	1.00	昭和24年度	
保健学科	4	180	3年次 20	760	(看護学)	1.06	平成16年度	札幌市北区北12条西5丁目
					(保健学)			
歯学部					学士	1.00	昭和42年度	札幌市北区北13条西7丁目
歯学科	6	53		346	(歯学)		昭和42年度	
薬学部					学士	1.20	昭和40年度	札幌市北区北12条西6丁目
薬科学科	4	50		200	(薬科学)		平成18年度	
薬学科	6	30		180	(薬学)		平成18年度	
工学部					学士	1.08	昭和24年度	札幌市北区北13条西8丁目
応用理工系学科	4	160	3 年 次 10	640	(工学)	1.18	平成17年度	
情報エレクトロニクス学科		180		720		1.07	平成17年度	
機械知能工学科		120		480		1.06	平成17年度	
環境社会工学科		210		840		1.01	平成17年度	
農学部					学士	1.01	昭和24年度	札幌市北区北9条西9丁目
生物資源科学科	4	36		144	(農学)		平成4年度	
応用生命科学科		30		120			平成4年度	
生物機能化学科		35		140			平成4年度	
森林科学科		36		144			平成4年度	
畜産科学科		23		92			平成4年度	
生物環境工学科		30		120			昭和24年度	
農業経済学科		25		100			昭和24年度	
獣医学部					学士	1.05	昭和27年度	札幌市北区北18条西9丁目
共同獣医学課程	6	40		240	(獣医学)		平成24年度	
水産学部					学士	1.02	昭和24年度	函館市港町3丁目1番1号
海洋生物科学科	4	54		216	(水産学)		平成18年度	
海洋資源科学科		53		212			平成18年度	
増殖生命科学科		54		216			平成18年度	
資源機能化学科		54		216			平成18年度	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
- （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

＜工学院（博士後期課程）＞

[illegible]

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- 40

(2) 専任教員数

<工学院応用物理学専攻(博士後期課程)>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
25	11	36	0	24	9	33	0	
(25)	(11)	(36)	(0)	[△1]	[△2]	[△3]	[0]	

<工学院材料科学専攻(博士後期課程)>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
23	8	31	0	24	6	30	0	
(21)	(7)	(28)	(0)	[1]	[△2]	[△1]	[0]	

<工学院機械宇宙工学専攻(博士後期課程)>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
14	5	19	0	14	4	18	0	
(14)	(6)	(20)	(0)	[0]	[△1]	[△1]	[0]	

<工学院人間機械システムデザイン専攻(博士後期課程)>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
14	3	17	1	13	4	17	1	
(14)	(4)	(18)	(1)	[△1]	[1]	[0]	[0]	

<工学院エネルギー環境システム専攻(博士後期課程)>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
10	3	13	0	12	3	15	0	
(9)	(3)	(12)	(0)	[2]	[0]	[2]	[0]	

<工学院量子理工学専攻(博士後期課程)>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
21	7	28	0	22	8	30	0	
(21)	(7)	(28)	(0)	[1]	[1]	[2]	[0]	

<工学院環境フィールド工学専攻（博士後期課程）>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
10	5	15	0	12	6	18	0	
(10)	(5)	(15)	(0)	[2]	[1]	[3]	[0]	

<工学院北方圏環境政策工学専攻（博士後期課程）>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
11	4	15	0	12	4	16	0	
(11)	(4)	(15)	(0)	[1]	[0]	[1]	[0]	

<工学院建築都市空間デザイン専攻（博士後期課程）>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
8	4	12	0	10	6	16	0	
(9)	(4)	(13)	(0)	[2]	[2]	[4]	[0]	

<工学院空間性能システム専攻（博士後期課程）>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
11	4	15	0	12	2	14	0	
(11)	(4)	(15)	(0)	[1]	[△2]	[△1]	[0]	

<工学院環境創生工学専攻（博士後期課程）>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
15	5	20	0	14	7	21	0	
(15)	(4)	(19)	(0)	[△1]	[2]	[1]	[0]	

<工学院環境循環システム専攻（博士後期課程）>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
12	5	17	0	13	5	18	0	
(12)	(5)	(17)	(0)	[1]	[0]	[1]	[0]	

（注）・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成24年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に届出時の
計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

<工学院（博士後期課程）>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学院（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位、必修科目○○単位、選択科目○○単位 ② 施設・設備 a 講義室○室 (○㎡) b 自習室○室 (○㎡) c 図書○○冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添○「新旧対照表」参照） ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ○部屋 (○㎡) 増やすとともに、図書も○○冊増善した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む） d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例)

・平成24年5月1日 公表

b 公表方法

記入例)

・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(H24 年 6 月 日) 予定

2 授業科目の概要

<工学院応用物理学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
特別 研究	応用物理学特別研究	1～3通	2			13 12	10 11 10 11	1 2	9 10 11		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	応用物理学特別研究E	1～3通	2			13	10 11	1	9 10		教育内容充実のため、新規 授業科目として開講した(23) 教員の異動に伴う変更(24)

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	0	0	1	2	0	0	2	
				[1]	[0]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学院材料科学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	材料科学特別研究	1～3通	2			12 13 12 14	12 11 9		6 7 6 8		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	材料科学特別研究E	1～3通	2			9 10 9 10	10 9 7		6 7 6 8		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)

(注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。

(注)・届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

・届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<工学院機械宇宙工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	機械宇宙工学特別研究	1～3通	2			8 7 8 7	6 6 7		4 6 5		教員の異動に伴う変更(22) 教員の退職に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	機械知能システム工学特別研究E	1～3通	2			6 5 6	5		4 6 5		教員の採用に伴う変更(22) 教員の退職に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学院人間機械システムデザイン専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	人間機械システムデザイン特別研究	1～3通	2			9 7	5 7		4 3		教員の異動に伴う変更(22) 教員の採用に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(22)
	機械知能システム工学特別研究E	1～3通	2			6	5		4 3		

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

＜工学院エネルギー環境システム専攻（博士後期課程）＞

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	エネルギー環境システム特別研究	1～3通	2			6 5	6 3 5		3 2 3		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	機械知能システム工学特別研究E	1～3通	2			6 5	6 3 5		3 2 3		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)

- （注）・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<工学院量子理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	量子理工学特別研究	1～3通	2			14 13 12	8 9		8 7		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23)
	機械知能システム工学特別研究E	1～3通	2			8 7	8		8 7		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23)

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<工学院環境フィールド工学専攻（博士後期課程）>

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	環境フィールド工学特別研究	1～3通	2			6 5	6 5		6 5		教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	環境フィールド工学特別研究E	1～3通	2			6 5	6 5		6 5		

- （注）・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・ 未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学院北方圏環境政策工学専攻（博士後期課程）>

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	北方圏環境政策工学特別研究	1～3通	2			7 8 7	5 4 5		4 5 4		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24) 教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	北方圏環境政策工学特別研究E	1～3通	2			7 8 7	5 4 5		4 5 4		

- （注）・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・ 未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<工学院建築都市空間デザイン専攻（博士後期課程）>

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	建築都市空間デザイン特別研究	1～3通	2			5 6 3	5 3 5		6 5 4		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	建築都市空間デザイン特別研究E	1～3通	2			5 6 3	5 3 5		6 5 4		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)

- （注）・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計
設置時の計画の授業科目数の計

=

0

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<工学院空間性能システム専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	空間性能システム特別研究	1～3通	2			5 6 5	7 5 6		2 4		教員の異動に伴う変更(22) 教員の採用に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	空間性能システム特別研究E	1～3通	2			5 6 5	7 5 6		2 4		教員の異動に伴う変更(22) 教員の採用に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，（１）「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

<工学院環境創生工学専攻（博士後期課程）>

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特別研究	環境創生工学特別研究	1～3通	2			6 7	8			7 6 4 5		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	環境創生工学特別研究E	1～3通	2			6 7	8			7 6 4 5		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)

- （注）・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注)・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<工学院環境循環システム専攻（博士後期課程）>

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	環境循環システム特別研究	1～3通	2			6 7 6 5	7 6 7		5 4 5		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)
	環境循環システム特別研究E	1～3通	2			6 7 6 5	7 6 7		5 4 5		教員の異動に伴う変更(22) 教員の異動に伴う変更(23) 教員の異動に伴う変更(24)

- （注）・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	0	0	2	2	0	0	2	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- （注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計
設置時の計画の授業科目数の計

=

0

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。